

【コメント】

新石垣市立八重山博物館の建設にあたり、設計者選定について県内業者優先の要望活動を行いました。詳細は以下の八重山毎日新聞の記事（2020.10.25掲載記事）を参照願います。

# 県内優先発注を要望

## 県建築士事務所協会 新博物館建設の設計で

一般社団法人沖縄県建築士事務所協会（武岡光明会長）は23日午前、石垣市教育委員会の石垣安志教育長や同市の川満誠一副市長などへ『新石垣市立八重山博物館』建設にかかる設計は、県内の建築士事務所に優先的発注するように求める要望書を提出した。

石垣市は、市立八重山博物館の狭あい化、老朽化に伴う新館建設に向けて、7月に新八重山博物館（仮称）建設事業内部検討会を立ち上げ、機能や運営方法、維持管理などについて話し合っている。

武岡会長ら3人が同日午前、市教育委員会の石垣教育長を訪ね、要望書を手渡した。武岡会長は「その土地の事情を熟知した者を選定する必要がある」と地元企業への期待を示した。

石垣教育長は「まだ内部で検討するための準備の段階だが、地元優先で依頼することは常に考えている。理想とする博物館建設に向けて進めていきたい」と答えた。

このあと、武岡会長らは石垣市役所を訪ね、川満副市長や関係部署に同様の内容の要望書を提出した。

業の強みを強調。「収蔵庫にしまわれている展示物は観光資源としても重要。新博物館建設を実現し、八重山の文化を発信してほしい」と期待した。



新八重山博物館設計の県内事業所への優先発注を要望する一般社団法人沖縄県建築士事務所協会の武岡光明会長（右から2人目）＝23日午前、石垣市教育委員会事務局